

かなげ除去に使われたお客様のご使用例

■ 錆取り洗浄剤 R55

去る3/9(日)、毎冬、自宅敷地から汲み上げた消雪パイプ用の地下水から発生する鉄分(かなげ)除去対策のため、「さび取り剤R-55リキッド4リットル」(1容器)を購入させていただきました青森県の「※※」です。余りにも「除錆効果」がき面で、驚いており、嬉しく思い、御礼を兼ねたメールを書かせていただきました。

一昨年から、千葉県の「野口商事」の錆取り剤、大阪府のシンワ無線の錆取り剤を購入して、鉄分(かねげ)除去を試みましたが、効果はいま一歩でした。

ところが、今年3月、御社の「R55(4リットル)」を購入し、その3リットル程度を使用して、公道部分(側溝)の錆取りをしたところ、あらかたの鉄分(かなげ)が、ほとんど除去されてしまいました。

R55を蓄圧スプレーで噴霧し、15分程度経過後に、金ブラシで擦ります。そして30分経過後に、その上に水道水を撒きますと、噴霧した部分の全体が「乳白色の液体」になりますが、私の場合は余り丁寧に流し落とさず、乳白色の液体をそのまま、コンクリートの側溝蓋や道路部分で茶褐色になった箇所に自然に付着させるようにしました。乾いてくれば、錆も落ちて真っ白になります。

それに何よりも、御社の製品は、他社の「除錆剤」と違って、臭いをほとんど感じませんので、周囲の環境にも迷惑がかりませんでしたね。

公道の側溝部分の蓋部分が、7~8mにわたって茶褐色のままになっていますと、周囲の美観も良くありませんが、御社のR55により、今年の春は「完璧」で嬉しい限りです。昨年付着して残っていた鉄分「かねげ」もほとんど見えなくなりました。

さて、ご質問の㎡当たりの使用料でございますが、かなげの程度にも寄るものと思われまます。

今春、写真を数枚送らせていただきましたが、私の地下水の「かなげ」は茶褐色になる程度の汚れですが、地域によっては、正に「黄色いペンキをぶちまけたような強いかなげ」の地下水が湧き出る地域もございます。こうした強いかなげの場合は、どの程度の使用量になるのかはわかりませんが、相当の使用料が必要と思われまます。(意外にも簡単に落ちるのかも知れませんが…)

私の自宅のような茶褐色程度のかなげであれば、「㎡辺り0.5リットル程度？」もあれば、80%程度のかなげが除去できるものと思われまます。蓄圧式スプレーで、2回に分けて「噴霧」していますので、正確な事は申し上げられませんが、昨年石井様から8リットル(4リットル×2ケース)をお分けいただきましたが、まだ2リットル程度未使用で残っています。

要はどの程度まで、コンクリートのかなげを除去するかについては、ある意味で個人の「好み」の問題にもなると思われまます。私がお送りした写真のように、まあ、ある程度のかなげが除去できれば、「周囲の美観」も気にならないと思われまます。

